

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

いろいろな人でにぎわう大川の滝

神山小学校 六年 鎌田 美神比

→ 大川のカラダが、水がハラハラと流れて、

大きな音をたてながら、風と水がいついそぎりに

きりのまうに、ハラハラととんでくるよ。

今年の夏、兄ちゃんの高校のお友達が来

きたので、いよいよに屋久島一周をしまし

た。大川の滝にいくと、水がハラハラと顔に

かかりました。その近くに、シカヤサルがい

ました。

ぼくは、昔一年に六回は、大川の滝に行っ

ていました。そのときは、行くときも、あふ

る、てすりかこわれていて、あふないと思

ていたけど、今はとてもきれいななっ

ていた。とても安全でいいと思いました。こ

んな気持ちのよい大川の滝をもっとみんなに知

つてほしいと思います。そこで、もっと多く

の人に、来てもらう方法はないかを考えてみま

した。

まずは、大川の滝で、ぼくは、お祭りやバ

(不許複製)

3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

1ペキユ1をすることです。そのついでに、  
 大川の滝を見て、その良さに気付くし思った  
 からです。でも、問題があります。  
 それは、バーベキユ1で使う炭のゴミかけ  
 わり外、屋久島のかんきようをよこしてしま  
 う、お祭りをやると、ゴミが落ちてしまっ  
 て、そして、スパースも十分にはいという点です。  
 そこで新しく考えたのは、無人市のおもてな  
 しです。スパースもそんなにいらぬし、無  
 人市で屋久島のおもてなしをすれば、お店も  
 人もいらぬし、毎日では、いろいろな  
 が来たときも屋久島のみ、を知ってもらえる  
 からです。春夏秋冬、毎回品物の種類を変え  
 れば、いろいろな人に楽しんでもらえら  
 からです。このようにおもてなしをすること、い  
 らい  
 うな人が大川の滝を見にきてくれると思いま  
 す。  
 十年後二十年後、大川の滝が、いろいろな  
 人が見て、きゅいであってほしいです。

No. 2

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

